

# 徳島子どもと教育

**徳島県教職員の会**  
〒771-0017徳島市川内町鶴島115  
黄金ビル 徳島労連事務所内  
TEL 088-665-6644  
FAX 088-665-2117  
携帯 090-2891-5189  
eメール dp12287892@pf.lolipop.jp  
2018年7月25日 No.229

## ゆきとどいた教育をめざす徳島県連絡会 総会と学習会を開催

6月17日、ふれあい健康館にて、ゆきとどいた教育をめざす会徳島県連絡会の総会と学習会が開催されました。

学習会では、講師の井内哲也さん(県教科書ネット)が、「中学校道徳の教科書を読む～教科書の問題点を考える～」と題して講演を行いました。以下は講演の一部を紹介します。

### ●小学校「道徳」が始まって・・

今年の4月から小学校で「道徳」が始まったが、様々な問題が指摘されている。NHKのクローズアップ現代プラスでは、教師が特定の価値観を押しつけることにならないかと心配していた。また、道徳の教科書に載っている教材がクラスの状況とわり二つで、授業をした後、子どもが学校に登校しづらい状況になってしまったという報告もある。学習指導要領の文言には「考える道徳」「議論する道徳」へ転換するとあり、特定の価値の押しつけにならないようにしようとはしている。しかし、教科書には誰がどう読んでも、一定の価値感に方向が決まっていくような題材もある。また、教科書には設問があり、子ども自身が自己評価をし、それを教師が評価をする。子ども自身が評価という決められた方向に合わしていくということになる。

### ●宮沢先生の「道徳」実践

小学校教師の宮澤さんは、中断読みを行っている。教科書を渡さず、必要な所だけをプリントを配布して授業をしている。決して



### 教職員の会総会・納涼会のご案内

☆総会:8月18日(土) 13:30～

・徳島市ふれあい健康館

☆納涼会:8月18日(土) 18:00～

・郷里(さと) 徳島市栄町1-10

アクティから徒歩30秒

・電話 050-5827-2449

・2時間飲み放題 5000円

・申込は8月16日までに、河野さん

(電話090-9456-3369)まで

て子どもに題材の最後を読ませない。読ませると子どもはいろいろな意見を持っていても最後は題材の結論に流されてしまうからだ。

### ●中学校「道徳」教科書の中には・・

中学校道徳の教科書会社は全部で8社。新規参入は日本教科書のみ。実は日本教科書への検定意見数が最も多かった。この会社はこれまで中国や韓国のヘイト本をいっぱい作ってきた会社で、そこが道徳の本を作る。最も道徳的でない。この会社は安倍首相のブレーンの八木秀次氏が作った会社で、今は3代目が社長をしている。教科書を作るノウハウがなく、文科省の「私たちの道徳」からの教材も多く、作る気があるのかと批判する方もいる。あまりにひどすぎて文科省も意見を言わざるを得なかったのではないかな。

この教材の内容項目は「正直・誠実」です。この物語を始めに最後まで読んでから議論する通常の指導法で授業すると、子どもたちの感想は「げきじように行かないで男の子のほうをえらぶのはいい人だなと思った」「どんなに自分にとつて大切なことでも約束は守らなければいけないことがわかった」等、ほとんどの子どもがこの教材の求める価値に寄り添った感想を書いていました。

しかし「中断読み」で、最後まで物語を見せずに「手品師はまよいに、まよっていました」までで読むのを止めて議論させると、多くの子どもは「男の子を大劇場のステージに招待すればいい」という意見になり、その他にも「まよう必要なんてない。貧乏なんだから大劇場に行くべきだ。お金は大切だ」や、「お父さんがいないのだから、手品師とお母さんが再婚すればいい。そうすれば毎日手品を見られるし、男の子も家族がで

「四月からの小学校道徳はこうする」(宮澤弘道)より

中身を見てみると、日本教科書には題材とは関係ないのに皇后の写真が載っている。また、題材「白菊」の資料として安倍首相のハワイでの「和解の力」演説、しかも、演説の美しい感動的な部分だけ掲載しており、この教科書の特異さを示していると思う。さらに、外国から見て日本はどんなに素晴らしい国なのかといった題材もあり、これらは偏狭な愛国心につながっていくと考えられる。サミットの会場だった伊勢神宮も出ている。また、ジェンダーの観点で、おかしい題材もある。おばあちゃんの病院の付き添いに誰が行くかと家族で話し合ったら、全員用事がある中、母親が行くことになった。しかし、母親は次の日は管理職の登用審査の日で、審査をあきらめて付き添いに行くことになる。家族の世話は完全に女性の仕事と決めつけている。

### ●中学校「道徳」の問題点

22項目の徳目を入れて全て教えるようになっている。考え、議論する道徳とは言われているが、議論しても徳目に誘導されるようになっている。徳目に合わせた内容や議論のテーマになっている。出版会社が徳目のために作った題材もある。中には事実でない話もある。また、普通の文学作品を徳目に合わせて改造しているものもある。作家の意図と違うことに使う。美術や音楽でこういうことをすると問題にされるが文学は許されるというのか。





子どもたちに自己評価をさせるという問題もある。すべての教科書に採用されている。教師には、生徒の道徳の評価は数値で行わず、記述で行うとされているが、教科書によっては、生徒に1～4などの数値で自己評価をさせるものもある。全時間、自己評価し、愛国心でも同様に自己評価する。生徒も様々で自己評価を高く書く生徒もいるし、低く書く生徒もいるが、まじめな生徒は次はいい評価ができるように頑張ろうと追い込まれていくだろう。教師からすると、多忙化の中で、教科書に評価や感想を書き込めば簡単に授業ができるので、活用するかもしれないが、それは生徒たちに徳目の価値観に落とし込んでいくことになる。

●私たちにできることは・・

- これからの取り組みについては
- ①教科書の見本本を読み、意見を出す。先生の意見を尊重してほしいと書いてほしい。日本教科書の問題点を書く。
  - ②子どもの内心の自由を守ろう。道徳の教科化の問題点について声を上げる。
  - ③自由な道徳の授業ができるように、子どもに価値観を押しつけないような授業を求めていく。
  - ④どの子も人間として大切にされる教育をすすめる。



.....  
**中学校道徳教科書採択問題での「声明」を教育長や校長に送付**

現在、来年4月から使用される中学校道徳教科書採択作業が全国各地で行われています。

こうしたなか、徳島県教職員の会は、「来年度から使用される中学校道徳教科書の採択と『日本教科書』の中学校道徳教科書について」と題する「声明」（同封文書）を7月11日に発表しました。この「声明」は、「日本教科書」の道徳教科書の異常さを指摘し、「教科書採択は、政治的圧力を排し、子どもと教員を中心にすえて」行われる必要があると述べています。

なお、教職員の会は、この「声明」を、徳島県内のすべての教育長と中学校校長・道徳教育推進教師に送付しました。

**第58回 徳島県母親大会**  
**第1分科会「今、子どもたちに『幸せに生きる力』」報告**

●問題提起者 小池清さん

1.はじめに 今、子供達の状況に危機感を持っている。

2.子どもたちが幸せに生きる力を阻むもの

・その1 豊かに成長していくべき子供期の貧困化・少年期の剥奪

三間の保障（時間、空間、仲間）が大切であり、子どもの権利である。



る。しかし、親は長時間労働に従事せざるを得ず、子どもの声に耳を傾ける時間とエネルギーを奪われている。学校は学力向上政策のもとで競争主義的性格がさらに強まり、不登校、校内暴力、いじめは増加している。自殺の発生率も急増している。子どもは自由な時間が減り、種々のプレッシャーと不安で緊張状態が続いている。

・その2 新学習指導要領

新教育基本法に書いてある「必要な資質」は、政府がその中身を決めており、無制限に教育に介入してくる。教育課程の全分野にPDCAサイクルを導入することによって、数値と効率を優先する全校スタンダードの指導が強要されている。学力テストは、なんと高校まで計画されている。英語の導入も問題である。英語が増えることによって学校のカリキュラムは破裂寸前。中1の学習内容が5、6年生に下りてくる。教員の英語の専門性も危惧。道徳も問題。徳目の押し付けが懸念される。幼児教育の育成すべき資質・能力は10項目もあげられている。小学校入学時の姿として求められるなら相当なプレッシャーがかかる。

3.子供達に幸せに生きる力を育むために何が必要か

受容的応答的に対応してくれる大人たちの存在が子育ての保障となる。常に新しい発見があるような遊び活動や学びを考え、実践していく必要がある。子どもが自己決定する場面を保障し、他者とつながる取り組みをする。

4.子どもたちを苦しみから守るための具体的な取り組みとして

家庭。親はどれだけ、わが子を具体的に褒めるか、認めるかが非常に重要。毎日の褒め記録でも作って交流してはどうだろうか。あなたは大切であるというメッセージを18歳まで伝え続けたい。徳島の子どもたちの幸せを広げる連絡会的なものがつくれたらいいのではないかな。子どもたちが校則や自分たちの未来に積極的に意見表明できる機会をつくる。子どもの権利基本法の制定を応援したい。福井県では学力テストによって中学生が自殺している。福井県議会は教育行政に対して素晴らしい意見書を出している。乳幼児を持つ労働者には子育てをする期間、残業を禁止しようとする提案もある。

●問題提起者 平岡保人さん

ひまわり学校の5つの特徴を紹介する。①みんなでやるから楽しい。みんなが同じ方向を向いているから、みんなでやるから、失敗しても楽しい。②失敗から学ぶ。井作りをしたがレシピは無い。レシピは頭の中。だが、とてつもない井が出来上がった。③異年齢集団と触れ合う。違う世代と触れ合う。新しい思考軸をつくれるのでは。④自然との触れ合いを通じて新しい自分を発見できる。自然は自分の思い通りにはできない。⑤みんなで決めてみんなで守る。大人たちも話し合いの仕方を知らない。原案を提出。話し合って修正していく。一人の意見を大切に。伸べる力は子供達の中にある。自分で伸びていく力は子供達の中にある。認めてくれて支えてくれる自分以外の誰か。失敗しても大丈夫。チャンスはまだある余裕。目くじら立てる必要はない。ゆったり待つてあげる。大人の余裕も必要。